



日時：令和7年2月26日（水）13時30分開会
会場：水戸市役所 4階 中会議室1～3

令和7年度提案事業の公開プレゼンテーション

発表順		提案事業名	提案団体	市の担当課
13:30～		開 会		
プレゼンテーション	1	ドライバーサポートフィットネス「ドラサポ」	特定非営利活動法人 ちいきの学校	高齢福祉課
	2	しもいち実証実験教室	さととし	都市計画課
	3	空き家に関するワンストップ総合相談窓口事業	特定非営利活動法人 ふるさと空き家相談・サポート	生活安全課
	4	ふるさと教育「御老公と行く！私たちの水戸」	一般社団法人 水戸葵社中	生涯学習課
	5	若い世代で戦争の紙芝居を伝承しよう～デジタル化による新たな紙芝居を創る～	次世代に伝えたい朗読 と紙芝居のオリーブ	文化交流課
	6	地域と動物の共生プロジェクト	いばらきのシッポの幸せの会	動物愛護センター
	7	次世代継承店舗と学生がつくるまちづくり～起業ゲームから実践へ～	23RD まちづくり株式会社	商工課
	8	参考書バンク	茨城高校国際教養コース・これミラ班	ごみ減量課
		閉会		

※ 発表順は都合により前後する場合がございますので予めご了承ください。

★令和7年度 提案事業の概要 ★

提案事業名	ドライバーサポートフィットネス「ドラサポ」		
提案団体	特定非営利活動法人ちいきの学校	市の担当課	高齢福祉課
事業の概要	高齢者ドライバーの事故や免許返納問題に加え、75歳以上に設けられた免許更新時の認知機能検査などに不安を抱える方が多い。この事業では、体力測定や認知機能検査による数値的評価を参加者に公表し、身体的機能（筋力、反射力、柔軟性）や認知機能の維持を目的としたストレッチ等の運動を実施する講習会を3期に分けて計21回実施する。また、講習会修了者へのアフターフォローとして定期的に健康講座などを実施する。		
収支計画 [事業総額] 600,000 円	収入	市補助金 … 460,000 円, 参加費…135,000 円 自己資金 … 5,000 円	
	支出	通信運搬費, 印刷製本費, 消耗品費, 賃借料	

提案事業名	しもいち実証実験教室		
提案団体	さととし	市の担当課	都市計画課
事業の概要	備前堀とその周辺における景観保全・形成と歴史的資源の活用を軸に、地域住民や市民、来訪者が主体となる交流と実践の場を創出していく。本年度は、「空き家」を拠点とした実証実験を展開し、以下の活動を行う。 1 地域で挑戦したいアイデアを持つ市民の募集 2 下市エリアにまつわる歴史や景観の学びと視察 3 募集者ととともに、歴史や景観を守りながら空間を活用する方法を具体化 4 空き家などを活用し、イベントや1日出店などの実験的プロジェクトを実施		
収支計画 [事業総額] 560,000 円	収入	市補助金 … 500,000 円, 参加費 … 30,000 円, 受講費 … 30,000 円	
	支出	印刷製本費, 委託料, 賃借料など	

提案事業名	空き家に関するワンストップ総合相談窓口事業		
提案団体	特定非営利活動法人ふるさと空き家相談・サポート	市の担当課	生活安全課
事業の概要	関連事業者や専門家と連携した「空き家に関するワンストップ総合窓口」を設置し、水戸市内の空き家を現在所有する方、現在所有の住まいが空き家となる可能性がある方及び相続等の理由により、空き家を所有する可能性のある方に対して、適切な助言・提言を行う。また、空き家関連のセミナーや個別相談会を開催する。 空き家所有者の負担軽減を目指し、地域の活性化と地域住民の不安を解消し、誰もが安全に安心して住むことができるまちづくりを目指す。 今年度は、セミナーのオンライン化への対応などの変更と開催頻度を高めることによる参加者の増加、空き家の掘り起こしを行う。		
収支計画 [事業総額] 527,000円	収入	市補助金・・・474,000円、自己資金・・・53,000円	
	支出	広告宣伝費、印刷製本費、諸謝金、通信運搬費など	

提案事業名	ふるさと教育「御老公と行く！私たちの水戸」		
提案団体	一般社団法人 水戸葵社中	市の担当課	生涯学習課
事業の概要	子どもたちが自分たちの目線で「ふるさと・水戸」の歴史、今、未来を考え、調べたことを、過去からタイムスリップして現代に来た水戸黄門様へ教える動画を作成し、自分たちのふるさとである水戸市について、一緒に考える機会を作る。 また、小学校の親子教室等でのふるさと教育支援活動の実施、市内の歴史的建造物文化財・歴史、市の取組みなどを市内小学生とともに考えていくドラマ形式の動画を作成・配信し、ふるさとについて学ぶ機会を提供する。		
収支計画 [事業総額] 800,000円	収入	市補助金・・・500,000円、自己資金・・・300,000円	
	支出	賃借料、委託料など	

提案事業名	若い世代で戦争の紙芝居を伝承しよう～デジタル化による新たな紙芝居を創る～		
提案団体	次世代に伝えたい朗読と紙芝居のオリープ	市の担当課	文化交流課
事業の概要	戦後 80 年を迎えるにあたり，戦災体験者も年々減り続けている。平和の大切さを伝えられる紙芝居などは多くあれど，それを伝えることのできる人たちも少なくなっている。 本事業では，これまで公演を行ってきた「戦争の紙芝居」を学生に聴いてもらい，その内容を一緒に考えながら，プログラミングや音・映像の加工などの役割を担ってもらい，長く残せない紙の資料を，半永久的に残せる動画コンテンツ等にデジタル化する取組み。この事業をきっかけとして，若い世代の平和への意識醸成と次世代へ語り継ぐ役割を担ってもらうことを目的とする。		
収支計画 [事業総額] 450,000 円	収入	市補助金・・・405,000 円，自己資金・・・45,000 円	
	支出	諸謝金，消耗品費，印刷製本費，委託料など	

提案事業名	地域と動物の共生プロジェクト		
提案団体	いばらきのシッポの幸せの会	市の担当課	動物愛護センター
事業の概要	動物愛護に関する情報を地域全体に分かりやすく伝え，動物と人間が共存できる持続可能な社会を目指すとともに，地域のつながりを深め，草の根レベルでの意識改革を実現することで，野良猫問題などの解決にも寄与する事を目的とし，本年度については以下の事業を実施する。 1 動物飼育マナーや野良猫問題への取り組みを分かりやすくまとめたプリントを作成し，自治体回覧版を活用した情報配布 2 動物を飼う上での基本的な知識やマナー等を記載したパンフレットの作成，動物病院窓口等での配布 3 ステッカー作成と動物愛護イベント等での配布		
収支計画 [事業総額] 556,000 円	収入	水戸市補助金・・・500,000 円，自己資金・・・56,000 円	
	支出	印刷製本費，賃借料，消耗品費など	

提案事業名	次世代継承店舗と学生がつくるまちづくり～起業ゲームから実践へ～		
提案団体	23RD まちづくり株式会社	市の担当課	商工課
事業の概要	若い世代の創業機運を醸成するため、ロマンチックゾーン（末広町～袴塚）周辺において、高校生や大学生を対象に、地域と連携した創業体験ができるワークショップを開催する。 ロマンチックゾーン（末広町～袴塚）周辺地域の特色や、学校が集積しているエリアであることを活かし、大学生や高校生などの若い世代と、課題を持つ地域の店舗（次世代継承店舗）が協力してワークショップを開催することで、若い世代のアイデアの地域への取入れや、創業機運の醸成に取り組み、地域経済の活性化や若者が活躍できる社会の実現を目指す。		
収支計画 [事業総額] 560,000 円	収入	水戸市補助金・・・500,000 円， 寄付金 …… 60,000 円	
	支出	消耗品費，印刷製本費，人件費など	

提案事業名	参考書バンク		
提案団体	茨城高校国際教養コース・これミラ班	市の担当課	ごみ減量課
事業の概要	受験や試験後に高校生や中学生によって廃棄されてしまう参考書の数減らし、廃棄削減に貢献することを目的に、高校生の目線で、参考書を中心としたリユース事業を実施する。本年度は、以下の内容について実施する。 1 アンケート調査により必要とされる参考書などの具体数を把握する 2 デジタル技術や学生のネットワークを生かした広報活動 3 既存イベントへのブース出店や公共施設において本の譲渡会の実施		
収支計画 [事業総額] 401,000 円	収入	市補助金 …… 401,000 円，	
	支出	消耗品費，印刷製本費，賃借料，通信運搬費など	

※ 各提案事業の事業名や収支計画は、応募の時点で予定している内容です。
協働事業として実施する際の協議により、変更になる場合もあります。

多角的な視点から
審査します

協働推進委員会による審査では、提案団体が作成した協働事業提案書と公開プレゼンテーションをもとに、8つの審査項目に沿って採点します。

審査の結果、委員会が推薦する事業の中から、市は予算の範囲内で実施する事業を決定します。
(事業の決定は3月末の予定です)

【 審査項目 】

先見性・独創性	新たな着想や創意工夫があるか
事業の公共性	不特定多数の利益、社会全体の利益につながるか
ニーズの理解	社会的課題や市民ニーズをとらえているか
協働の必要度	協働による相乗効果が期待できるか
事業の将来性	成果の活用や波及効果など将来展望が明確か
手段の効率性	労力や経費などの見積りが適切か
役割分担	自立性を尊重し、お互いの長所を生かしているか
実現可能性	自己資金の確保や企画内容が実現可能か